

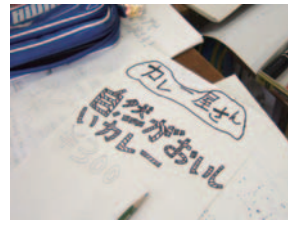
# 明治大学現代 GP ニュース

第9号

▶ 現代 GP「広域連携支援プログラム—千代田区=首都圏 ECM」は、大学教育と地域の連鎖の構築を目指したプログラムです。



今回は、明治大学商学部の取組み「広域連携支援プログラム—千代田区=首都圏 ECM (エデュケーション・チェーン・マネージメント)—」の10の商学的プロジェクトの中から、富野ゼミが9月・10月の間、活発に取り組んだ **proj.7「学生による金銭教育の実践」** にスポットをあててご紹介いたします。千葉県浦安小学校ではつつつ・元気な子供達との学習を通して、ゼミ生自身が「成長」を実現することができた「金銭教育」とはどのようなものだったのでしょうか？



「現代 GP」とは、文部科学省が、各大学が取り組む社会的要請に応えたプログラムの中から、特に優れたテーマを選定したものです。(現代 GP=現代的教育ニーズ取組支援プログラム、GPは Good Practice の略)

## 学生による金銭教育の実践

### 子供たちの「声」

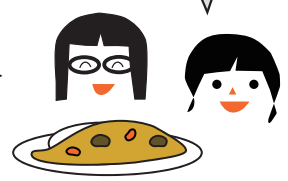
お父さんやお母さんの働いてかせいだお金を大切に使いたいです。

広報や接客、調理など初めてやったことなので大変でした。

お金のむだづかいはしてはいけないとわかった。

本物のお金を使ったのでドキドキ&なんか嬉しかったです。

5年生の力で499杯しかカレーが売れなかったことが、すごいくやしいけど、勉強になったし楽しかった思い出になりました！



明大生が小学生に行った金銭教育とは？



「学生による金銭教育の実践」

## みんなでお金を稼ごう!!



富野ゼミナール学生が浦安小学校5年生を対象に行った金銭教育授業は、小学生に授業やカレーの販売活動を通して、普段何気なく使われているお金の大切さ・利益の出方を学んでもらうということ目標としました。9月27日にスタートし、10月8日に行われた浦安スポーツフェスティバルでのカレー販売を含めて全7回の授業が行われました。

### 第1回～第4回 授業



「カレーを売るってどういうこと?」

1回目は商品の生産と流通について理解してもらい、またその過程でさまざまな仕事（職業）の役割についての説明を行い、2回目は利益と価格の説明、またそこからカレー販売する上での利益目標、カレーの販売価格（¥300）を決定し、3回目・4回目は、広告の価値・効果を説明し、小学生に実際にちらしや看板を作ってもらいました。また販売にあたっての接客指導も念入り行い、本番に向け準備をしました。



「ものの流れにはいろんな人がかかわっているんだね。」

### 第6回スポーツフェスティバル

商売人は商学生?!



裏方マニュアル

10月8日（日）接客、裏方（ごはんをよそう、袋詰め）、広報（ちらし配り、呼び込み）の仕事に、最初は緊張気味の小学生でしたが次第に慣れ大きな声で接客や呼び込みをしていました。お昼の時間になるとお客さんの行列ができ大繁盛。事前の接客の練習の甲斐があり、お客さんに褒めてもらったり、励ましの言葉をいただいたりしていました。最終的に550杯のカレーを売り完売することができました。終わると大学生はぐったりでしたが、小学生はとても楽しんでいました。



当日は快晴。小学生は朝から元気いっぱい。  
「今日はたくさん売るぞ。」  
「がんばろう!」

## 最終授業 「お金を稼ぐのって大変！」



スポーツフェスティバルでの結果報告として、総売上げ、利益を発表しました。完売はしたものの利益はあまりでなかったことを伝えると小学生はがっかりしていましたが、商売は甘くないということ理解してもらいました。このことからお金を得るということは大変さ、今の生活は両親のおかげであるとういことを分かってもらえました。利益の一部はユニセフ（国連児童基金）への募金にすることになりました。



「お兄さん、おねえさん、ありがとう。」

## 感想

私は、教師役として、この金銭教育に参加しました。初めに思ったことは、小学生はとても柔軟性のある考え方だなということです。質問するといくつも答えが返ってくるのでびっくりしました。苦労した点は、授業の進行方法です。時間配分がうまくいかず、教えたい内容を伝えることがなかなかできませんでした。しかし、まとめの授業の時に小学生にテーマであるお金の大切さが少し伝わったようなのでうれしかったです。この活動でいろいろなことが学べ、とても良い経験となりました。（富野ゼミ 3年 八幡 明佳）

### 金銭教育を振り返って（浦安市立浦安小学校 5年学年主任 久保 明子先生）

今回、大学生が本格的なカレーを作ってくれたことやスポーツフェアでの販売という明確な目標があったことで、子ども達は、学習の1時間目から当日の販売まで、毎時間、生き生きと意欲的に活動に取り組むことができました。

評価できる点としては、以下の点があげられます。

- ・販売に必要な接客の態度や言葉使いなどのスキルを知り、体験したこと。
- ・わずか4時間だったが、販売に携わることができた疲労感・満足感を得られたこと。
- ・普段発言の少ない子ども達も、大きな声で呼び込みや接客を生き生きとやっていたこと。
- ・お金を稼ぐ大変さが実感できたこと。

夏休みから、十分な準備をしていたと思いますが、当初は、戸惑いや反省の声が多く聞かれました。学習が進むにつれ、発問の仕方・資料の効果的な提示・子ども達の発言の受け止め方などの指導技術が、目に見えて上達していきました。何度も繰り返し、話し合い、修正を重ねていった成果です。後半は、安心してお任せすることができました。販売体験後のまとめの学習の時間は、最後にふさわしい自信に満ちた態度で、指導の流れもスムーズでした。学生の思いがしっかりと子ども達に伝わっていました。感想のカードに、お金の大切さ・親への思いなどが素直に表れていました。

販売当日はもちろんのこと、子ども達との学習時間以外に、大変な労力と時間が費やされたことと思います。お疲れ様でした。学生の皆さんにも、心に残る実践となったことと確信します。

## 「金銭教育 in 昌平小学校」（水野ゼミ）

現在、千代田区昌平小学校でも水野ゼミ3.4年生が金銭教育を行っています。全5回の授業を予定しており、12月には小学生が実際に孺恋村の野菜を販売をすることになります。水野ゼミは昨年も同プログラムを行った経験を生かし、流通、利益のしくみ、販売についての知識を取り入れた総合的な授業を実践を通して行っていきます。



# 11・12月のイベント情報



## 現代GPプロジェクト発表会

来たる12月2日、広域連携支援プログラム（現代GP）成果発表報告会を開催します！

千代田区とその他提携地域において生かされる様々な学生力が一度に報告される機会です。ゼミ説明会以外でもいろんな研究活動を見てみたい又は地域を通じた実践的な学習をしてみたい学生の皆さん、産学官連携による地域づくりに関心のある地域の方々、お誘い合わせの上どうぞお越しください。

### 日程

場所 明治大学リパティタワー 1093 教室

定員 140 名

日時 12月2日（土）14:00～17:00

参加費 無料（※事前の申込みは必要ありません。）

### 参加ゼミ（予定）

pro.1 地域連携支援講座（一般受講者）

pro.6 空き店舗 なごみま鮮果（熊澤ゼミ）

pro.3 防災プロジェクト（中村ゼミ・中林ゼミ）

pro.7 金銭教育プロジェクト（富野ゼミ）

pro.4 老舗プロジェクト（大友ゼミ）

proj.9 孺恋村活性化プロジェクト（水野ゼミ）

pro.5 カレープロジェクト（大友ゼミ）

ptoj.10 インターンシップ研究プロジェクト（山下ゼミ）

### ◆【11月3日（金・文化の日）～5日（日）】

proj.6 明大祭にて「なごみま鮮果」開店！

熊澤ゼミ学生が明大祭にて、三浦市物産（あたりめやトロジャーキーなど）を販売します。メディア棟前に揚げた、マグロの旗が目印です。

### ◆【12月1日（金）】

proj.7 商学生が八百屋さんに

千代田区昌平小学校の5年生と明治大学生が群馬県孺恋村の新鮮な野菜を販売します。販売場所は、明治大学駿河台校舎前、昌平学校前、神田ふれあい市場近辺を予定しています。詳細は、追ってHPに掲載します。（<http://www.meiji.ac.jp/shogaku/>）に掲載します。

### ◆【12月5日】

proj.1 つくばエクスプレス沿線市区長リレー シンポジウム 開催

つくばエクスプレスが開通して1年が経ちました。沿線の首長、TX担当の方々に、地域連携を通しての地域活性化について話し合っていたいただくとともに、明治大学リパティアカデミー「地域経済連携支援講座2」の受講者の方々が沿線活性化のための提言を行います。

### 編集後記

今回の特集、金銭教育プロジェクトの準備は本当に大変でした。何度ゼミ生同士がぶつかったことや…。でもやり終えた後のゼミ生の絆はより深く堅いものになりました！小学生もみんな素直でいい子で本当にかわいかったです。また小学校に遊びに行きたいくらいです。最後になりましたが、今回このプロジェクトに協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

さて、次の特集は上記にある現代GP各プロジェクト発表会の模様を取材していく予定です。（野本）